

平成29年度第2回「恵庭市史編さん委員会」会議録

日 時：平成30年2月16日（金） 15：00～16：30

場 所：市役所（3階）301. 302会議室

出席者：＜委 員＞ 山田副会長、江里口委員、曾根委員、高橋委員、中泉委員、
平中委員、山口委員、宮田委員
(欠席者) 村上委員

＜事務局＞ 浅香企画振興部長、大槻企画振興部次長、
渡辺広報課長、高橋市史担当主査、山田非常勤

＜委託事業者＞ 対馬、村上、佐藤、大江

傍聴者：1名

1. 開 会

事務局次長より、会長である北越副市長が急きょ出張していることから、本日は山田副会長に進行を願う旨を報告。

2. 副会長挨拶（要旨）

昨年6月の編さん委員会では、事業計画、恵庭市の概要、都市間交流の原稿の確認をしたが、その後11月に予定していた編さん委員会が執筆の遅れにより開催できなかった。本日は第7編：「福祉・保健医療」のうち、第2章の社会福祉の校正について議題とさせていただきたい。

※議事に入る前に、事務局次長より村上委員の欠席を報告。

3. 議事

山田副会長が議長となり、議事を開始。

(1) 協議事項1 市史原稿の校正について

第7編：「福祉・保健医療」 第2章「社会福祉」について

事務局より、7編全体の目次構成、第2章「社会福祉」の「節」の構成変更（案）等について説明。

《第7編：「福祉・保健医療」第2章の社会福祉の校正》

■社会福祉協議会について

- ①. 全編を通し、歴代の会長、委員長などを記載する際は名前を羅列するのではなく、「表」にする。※以降、他の編も同様に扱う。
- ②. 「恵庭市社会福祉協議会（以下、恵庭市社協）」と記述した以降は、略称に統一する。 ※以降、他の編も同様に扱う。

■各種団体機関について

- ①. 各種機関・団体の歴代代表者名・任期は、可能な限り調査をして記述する。ただし、代表者名や任期がどうしても不明な箇所は、不明である旨を明記して、分かっている範囲で記述する。 ※以降、他の編も同様に扱う。

■生活保護について

- ①. 推移データの表について……「生活保護状況の推移」のデータ表は、北海道における恵庭市の生活保護受給率はどのような位置にあるかというような、他との比較に関するコメントを記載する。その他、社会情勢等が生活保護受給率に与えた影響があれば検討し記載する。また、推移データの表は、1 ページ以内に収めることを念頭に、掲載する項目や年次等の取捨選択、見やすさに配慮するよう検討する。 ※以降、他の編も同様に扱う。

■児童福祉・母子福祉・子育て支援について

- ①. 「遺族手当制度」のように、各年度によって支給額に変動がある制度について、具体的な数字は記載しないとしても、制度の対象者や条件は記述する。
※以降、他の編も同様に扱う。

■障がい者福祉について

- ①. 全編を通し、障がいの「がい」は、国が策定した法律や慣用語の場合は「害」とし、それ以外は「がい」と平仮名を使用する。
- ②. 「障がい」表記の説明は必要だが、どのように掲載するかは再度検討する。

■高齢者福祉について

- ①. 歴代の老人クラブ会長の名前で、誤記がないよう再度確認する。

■その他の福祉団体について

なし。

■第2章全体の構成について

- ①. 第2章の「節」構成を、1章「生活保護」、2章「児童福祉・母子福祉・子育て支援」、3章「障害者福祉」、4章「高齢者福祉」、5章「社会福祉協議会」、6章「その他の福祉団体等」の順に変更する。

■全体を通して

- ①. 「節」の表記は漢数字であり、漢数字の使用を徹底すること。

(2) 協議事項2 その他

特になし。

4. その他

■次回の編さん委員会について

- ①. 開催は5月下旬を予定。
- ②. 定例の編さん委員会であり、議題は事業報告、事業計画、校正を予定。
- ③. 校正の対象は、第7編・福祉と保健医療中の第1章、第3～5章、第10編「教育」を予定。

5. 閉会